

教念寺



開教二十周年慶讃法要



本堂内陣



御本尊

教念寺は平成元年、安芸教区山県太田組教念寺の東京出張所として新座市にご法義の布教伝道のため活動を始めました。

平成四年に寺報『教念寺新報』を創刊し文書での伝道を開始し、以来月一回発行し今日に至っております。(平成二四年十二月号で二二二号)

平成八年には護寺、親睦を目的として「教念寺聞信会」が発足しました。また、平成十六年にはホームページを開設しインターネットを活用しての伝道が始まりました。

平成十九年、東京教区埼玉組への編入が許され、同年十一月二十八日付に浄土真宗本願寺派に正式に包括され、非法人教会『教念寺教会』となりました。その間、多くのご門徒の方々と御縁をいただき、僧俗一丸となってお念仏繁盛につとめて参りました。

埼玉県には他県から移り住んだ離郷門徒が多く、また新座市は、東京都心のベッドタウンとして人口が伸びています。戦後移り住んだ方々も七十代・八十代となり、世代交代が進んできています。元々お寺に親しむことなく生きてきた世代にどうやってお念仏のおこころを発信していくかが、これからの大きな役割目であると思っております。

月二回の定例法座、毎月発行の教念寺新報、ホームページを二本の伝道の柱として、あらゆる世代のニーズに合わせた伝道活動を通してお念仏のおこころをお伝えして参りたいと思います。



寺報『教念寺新報』



法のともしび消えることなし